

事務事業名 乳幼児家庭教育学級事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1676

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-21-544
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市立4保育所の保護者			各保育所で学習会と合同学習会を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			学習会概要 開催場所：市立4保育所 開催回数：3~4回/1保育所・年 学習内容：子どもに関すること 親自らの課題に関すること 豊かな市民性を身につけること その他：合同学習会を年に1度開催。 各学級の2~3人の役員が、学級運営や学習会の情報（合同研修会の計画・運営含む）を交換する交流会を年4回実施。						
子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親の養成を目指す。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
学習会・合同学習会の参加者数		人	48	251	630	630			650
5. コスト									
事業費		計	千円	0	132	376	376		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	792	905	1,158	376			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		乳幼児家庭教育学級は学級生（保護者）が主体的に運営をしている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止した学習会もあったが、どの保育所も1回は学習会を実施することができた。合同学習会については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、令和2年度より実施できていない。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として「家庭教育学級事業」がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
引き続き活動が充実したものになるよう支援していく。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
保育所設立運動に関連して、市立4保育所を対象に実施されてきた事業。家庭教育を中心とした学習を実施していたが、平成25年度から乳幼児に特化した内容に移行。									